

2018年ブロンテ・デイ公開講座

リーズ土産として木製の兵隊人形12体を父親のパトリック・ブロンテが子どもたちに与えた1826年6月5日からブロンテ文学が始まったとされています。この6月5日に近い6月の第1日曜日を日本ブロンテ協会は、本国イギリスの協会と歩調をあわせブロンテ・デイとし、専門家のみならず一般愛読者も集い、ブロンテ文学を愉しみ、味わうことにしています。本講座はその行事の一つであり、ブロンテ愛好者であれば十分愉しめる講座となっております。

日時：平成30年6月3日（日）14時～16時

講師：川崎明子（駒沢大学准教授）

演題：『嵐が丘』における愛する能力

エミリー・ブロンテの『嵐が丘』において、一見正反対に見えるヒースクリフと二代目キャサリンが、どちらも自分の「愛する能力」を誇ったり、反対に誰かの「愛する能力」のなさを軽蔑したりすることについて考察します。

講師：渡千鶴子（関西外国語大学教授）

演題：筆記の媒体に見るシャーロットとアン

当時の文化的背景と絡めて、筆記の媒体がシャーロットの小説の中でいかに表象され、機能しているのかを、登場人物の心理や周囲の状況との関わりから探ります。またアンの子供の美しい筆記から読み解けるものを考察します。

司会：田中淑子（元川村学園女子大学教授）

■受講対象者／協会員、ブロンテ文学に興味がある方、一般の方、学生

■受講料／無料

■お申込／日本ブロンテ協会ホームページ（<http://brontesociety.jp/>）内にリンクのあるオンラインフォームで**5月25日**までに参加をお申し込みください。

■会場／横浜市立大学 金沢八景キャンパス・カメラアホール

〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸 22-2

（アクセス）京浜急行金沢八景駅から徒歩5分、シーサイドライン金沢八景駅から徒歩7分

■受付／13時30分

■主催／日本ブロンテ協会 ■共催／横浜市立大学地域貢献センター ■後援／横浜市政策局